

チリNo.1※ワイナリーのコンチャ・イ・トロ

チリプレミアムワインの先駆者的存在

※ 2015年INTELVID調べ



豊穡の地から世界を凌駕する品質を生み出す

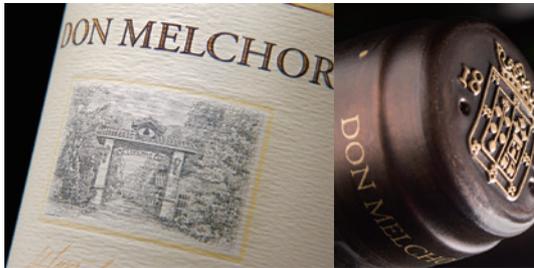
1883年、スペインの名門貴族コンチャ家のドン・メルチョー氏が、世界有数のワイン銘醸地ボルドーからブドウの苗をチリへ持ち込み、ブドウ栽培に最適な気候を持つマイポ・ヴァレーにブドウ畑を開拓し、コンチャ・イ・トロの基礎を築きました。

家族経営から始まったワイナリーは急速な成長を遂げ、品質面においても自信を深めた同社は、本格的に輸出事業へ取り組むため、1933年にはサンティアゴの株式市場に上場し、さらに規模を拡大。また同年にはヨーロッパへの初の輸出ワインをロッテルダム港へ向け出荷しました。こうして世界への第一歩は踏み出されたのです。



恵まれた風土を最大限に生かしたワイン造り

チリの国土は西は太平洋、東はアンデス山脈に挟まれて南北に細長く広がっています。北に砂漠、南に南極という自然環境が害虫の侵入を防ぎ、長く乾燥する夏、寒い冬、そしてブドウ生育期の昼夜の大きな温度差は、ブドウの生育に理想的な環境です。そのため、チリでは毎年、高品質なブドウが安定して収穫されています。チリの優秀なブドウ栽培地は、首都サンティアゴ市周辺から南にあたるチリ中央部にほぼ集中しています。中でもセントラル・ヴァレーは、稀に見る世界有数のワイン産地として有名です。太平洋とアンデス山脈から冷たい風が吹き込み、バランスのとれた土壌とアンデスの雪解け水に恵まれ、フランス系の高級ブドウ品種を栽培するのに最適な環境です。



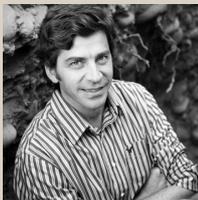
チリワインを世界に知らしめた「ドン・メルチョー」

1970年代以降、品質本位のポリシーに基づく路線を目指し、1980年代には早くも全ての醸造システムに新技術を取り入れてワイナリーの近代化に努めました。

チリ最高峰との呼び声の高いワイン「ドン・メルチョー」の初ヴァンテージは1987年。この「ドン・メルチョー」は豪華客船クイーンエリザベス2世号のワインリストにオンメニューされるなど、同社の品質の高さを裏付けるように、確固たる地位も築きました。また、1997年「シャトー・ムートン・ロートシルト」で有名なボルドーのバロン・フィリップ・ド・ロートシルトとのジョイント・ベンチャーを開始。この提携によって1998年9月に「アルマヴィヴァ」が発表されるや世界中で絶賛されました。ワイン・スペクテイター誌が行った世界18,000人の読者による人気投票では、「南米のベストワイナリー」に選ばれています。

WINEMAKER

DON MELCHOR
GRAVAS
del Maipo



エンリケ・ティラド

MARQUES
CASA CONCHA



マルセロ・パパ

Carmin de Peumo
Amelia
TERRUNYO



イグナシオ・レカバレン

ドン・メルチョーは米国の専門誌
「ワイン・スペクテイター」の年間TOP100に
9回も選ばれた、チリのトップワインです。

Topics

DON MELCHOR DON MELCHOR

Wine Spectator

CABERNET SAUVIGNON
Puente Alto Vineyard

Year	Score	Rank	Year	Score	Rank
2012	95pts	Top100	No.33		
2010	95pts	Top100	No. 9		
2005	96pts	Top100	No. 12		
2003	96pts	Top100	No. 4		
2001	95pts	Top100	No. 4		
2000	94pts	Top100	No.26		
1993	91pts	Top100	No. 12		
1988	91pts	Top100	No. 74		
2014	96pts	Top100	No. 90		